【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第２区分
【発行日】平成19年8月23日(2007.8.23)

【公開番号】特開2000-124230(P2000-124230A)
【公開日】平成12年4月28日(2000.4.28)
【出願番号】特願平10-293364
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｌ　21/50　　(2006.01)
Ｈ０１Ｌ　21/677　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｌ　21/50　　Ｄ
Ｈ０１Ｌ　21/68　　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成19年7月9日(2007.7.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
そこで特開平１－２３９９４４号公報に開示されているように、半導体フレームをチャックで狭持してマガジン外方に引き出し、ガイドレールに移載する方法が案出されている。これによれば半導体フレームの品種変更時、特にその長手方向での変化に対し即座に対応できる。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２０】
前述の識別した長さに応じたリードフレーム１４の送り量、即ちフレーム送りガイド１０の送り量を回転角に換算した駆動信号をフレーム送り用モーター２１に与えて回転させ、同時にモーターの回動軸に連動したボールネジ等の移動用ネジ２１ａを回転させ、リードフレーム１４を矢印４の方向へ供給する。リードフレーム１４を次工程に流した後、フレーム送り用モーター２１を逆回転させてフレーム送りガイド１０を元の位置に戻し、なおかつチャック１５も元の位置に戻す。なお、センサー１３は、光電センサーを利用することができ、フリップフロップと連動した状態保持動作をするスイッチングをさせて好適である。また、フレーム送り用モーター２１は、例えばエンコーダ付きのステッピングモーター若しくはサーボモータを使用し、フレーム送りガイド１０はボールネジ等の送りネジ２１ａに螺合する雌ねじ部と一体となり、少なくともリードフレーム１４のクレードル部に形成された透孔の一つに係合する凸片等の係合部を有するものが採用できる。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】符号の説明
【補正方法】変更
【補正の内容】
【符号の説明】
１　　マガジン

２、９　　モーター
２ａ、９ａ　移動用ネジ
３　　マガジン押さえ
４、１３　センサー
５、６　　リミットセンサー
７、１１　ガイドシャフト
１０　　ガイド
１２ａ　　ガイドレール（可動）
１２ｂ　　ガイドレール（固定）